

## 寒さ対策について

寒くなると免疫力が低下し、呼吸器症などの病気にかかりやすくなってしまいます。

またこの時期、換気が十分に行われないために、畜舎内の環境が悪くなりがちです。これからの寒い時期に注意すべき点をまとめましたので、参考にしてください。



POINT

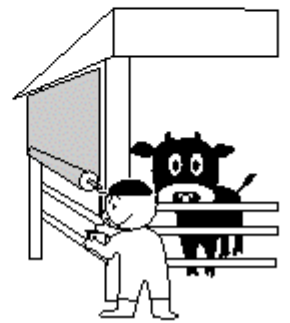
畜舎内の温度管理や保温も大切ですが、一方で換気や敷料交換といった衛生管理も重要なポイントです。寒いからといって牛舎を閉切ってしまうと、病気が蔓延してしまいますよ！

敷料交換を怠ると、腹が冷え下痢症の原因になります。こまめな敷料交換を心がけましょう。

運動後や牛を洗った後はよく拭きあげ、暖かい日には日光浴を行いましょ。



フカフカ



カーテンや窓を閉め切ってしまうと、暖かい日中などには換気をしましょう。

## ねずみによる害を防ごう

畜舎の中でネズミを見かけたことはありませんか？ネズミは夜行性なので、昼間は目に付きにくいものです。しかし、畜産現場ほどネズミの生活・繁殖場所に適したところはありません。また、その被害は間接的で認識しにくいものですが、放置しておけば非常に甚大になります。

### ねずみの種類と特徴

ドブネズミ: 大型で体重が300g以上にもなる。家屋内、床下、下水などの周辺を行動し、床壁の割れ目、床下、地下に巣を作る。

クマネズミ: 中型で乾燥したところに巣を作る。家屋内では天井裏、押入れ、壁裏などに巣を作り、鴨居、梁などを伝って行動する。

ハツカネズミ: 小型で体重が12~15g。通常は畑地などに生息し、晩秋から冬にかけて屋内に侵入定着する。稲わらの下などで見ることが多い。

### ネズミによる害

- ・病原体を運ぶ媒介者として働く。(例: サルモネラ症、コクシジウム症、大腸菌症など)
- ・畜舎や配管、電気コードなどがかじられる。
- ・飼料の損失など



### 駆除法

環境的駆除法: ネズミが生活できる環境要因を取り除く。

- 例: 餌を入手しにくくする、
- 巣の材料になるビニールなどを放置しない
- 通路になる隙間をふさぐ など

物理的防除法: 器具を用いてネズミを捕獲する。

科学的防除法: 殺鼠剤を用いる方法。

畜舎内外の掃除、整理整頓を徹底する。

## 鳥を飼われている方へ(お願い)

11月23日、韓国において高病原性鳥インフルエンザの発生が確認されました。今回の事例では、約13,000羽飼養している農場で、約半数が死亡し、残りの鶏は全て殺処分されています。この病気は、いつ海を越えて国内に侵入してくるとも分からない恐ろしい伝染病です。鳥を飼われている方(愛玩鳥を含む)がいらっしゃる場合は、以下の点に留意し、発生予防に努めてください。

- ① 飼っている鳥を野鳥と接触させない
- ② 野生動物が鳥小屋に入れないようにする
- ③ 給水用の水は、原則水道水とし、池等の水の場合は消毒をする。
- ④ 鳥小屋の出入口に踏込み消毒槽を設置する



## 成田全日空ホテル「高千穂フェア」が、10~11月の2ヶ月間、高千穂フェア開催

千葉県成田全日空ホテルで開催されました。「高千穂フェア」は、高千穂町が全日空の協力を得て行っている「地域再生マネージャー事業」の一環として行われたもので、高千穂牛、コンニャク、蜂の子など高千穂の食材を、全日空ホテルのレストランで一流のシェフが調理・提供しました。客の評判は非常に良く、予想以上の注文を受けたようです。また、普段全国の高級食材を調理しているシェフからも、「高千穂牛は肉の甘みがありとても美味しい」との評価をいただいております。